

NPO法人Annakaひだまりマルシェでは、この報告書のような冊子から、チラシ、パンフレット等のデザインのご注文を承っております。

お見積りなど、お気軽にお問合せ下さい。

NPO法人Annaka ひだまりマルシェ 年次報告書

2020



2020年度年次報告書

特定非営利活動法人Annakaひだまりマルシェ

〒379-0222 群馬県安中市松井田町松井田564

電話:027-384-3131 FAX:027-384-3130

メール:annaka-hidamari@kem.biglobe.ne.jp

HP:<https://www.annaka-hidamari.com/>





子どももおとなも、歳を重ねても、病を患っても、

障がいがあっても、国籍がちがっても。

あなたが大切なひとりとして暮らせますように。

私たちはこれからも、暮らしの中の社会課題に向き合っていきます。

目次

p 1	目次
p 2	実施事業紹介
p 3-4	事業報告 ファミリー・サポート・センター事業
p 5-6	事業報告 子育てサポートあんなか／管理部門
p 7-8	事業報告 コミュニティ事業
p 9-10	事業報告 3.11 , 会員募集について／ひだまりスタッフ 座右の銘



実施事業紹介

● 子育て支援事業

ファミリー・サポート・センター	本来業務である会員相互援助活動。センター業務・会員管理・マッチング・その他会員へのサポート等を行う。
子育てサポーター養成講座	ファミリー・サポート・センター主催。相互援助活動に関する講座の開催。主に提供会員に向けた子育てに関する講座。
子育てサポートあんなか	子育ての責任を家庭にのみ押し付けることなく、子どもの健やかな成長を見守り、行動していく事業。
ホームスタート	子育てサポートあんなか主催。6歳以上のお子さんがある家庭が対象の、家庭訪問型の子育て支援。ホームビジター養成も行う。
子育てフリーペーパーENTO!	子育てする皆さんを、皆さんと一緒にゆる〜く応援する、ちょっと座って片手間に読むフリーマガジンの発行。
研修会開催	子育てに関する幅広いジャンルの研修会を開催。

● コミュニティ事業

コミュニティカフェ運営	ランチ営業及び、テイクアウト弁当の製作、カフェスペースの貸し出し等を行う。
市民活動支援	市民活動拠点として、カフェスペースのシェアや講習会の開催などを行う。
委託販売	手作り雑貨や地産地消商品の委託販売を実施する。
ぐーちょき弁当	コロナ禍の中で、子育て世代の負担軽減のため「ぐーちょきパスポート」システムを利用した安価なお弁当の販売を行う。

● 3.11事業

子どもたちの健康に関する報告会	子どもたちの暮らす環境中にあるリスクを過小評価せず、その健康に注視し続けていくために事業を実施。年度末に集積したデータを広く一般と共有する報告会を開催。(2020年度は感染症感染予防を鑑み未開催)
土壌測定	子どもたちの暮らす環境中にあるリスクを過小評価しないために、現況について調査する土壌測定事業を実施。
情報発信・相談業務	子どもたちの健康に関する情報発信を実施。各種相談にも対応。

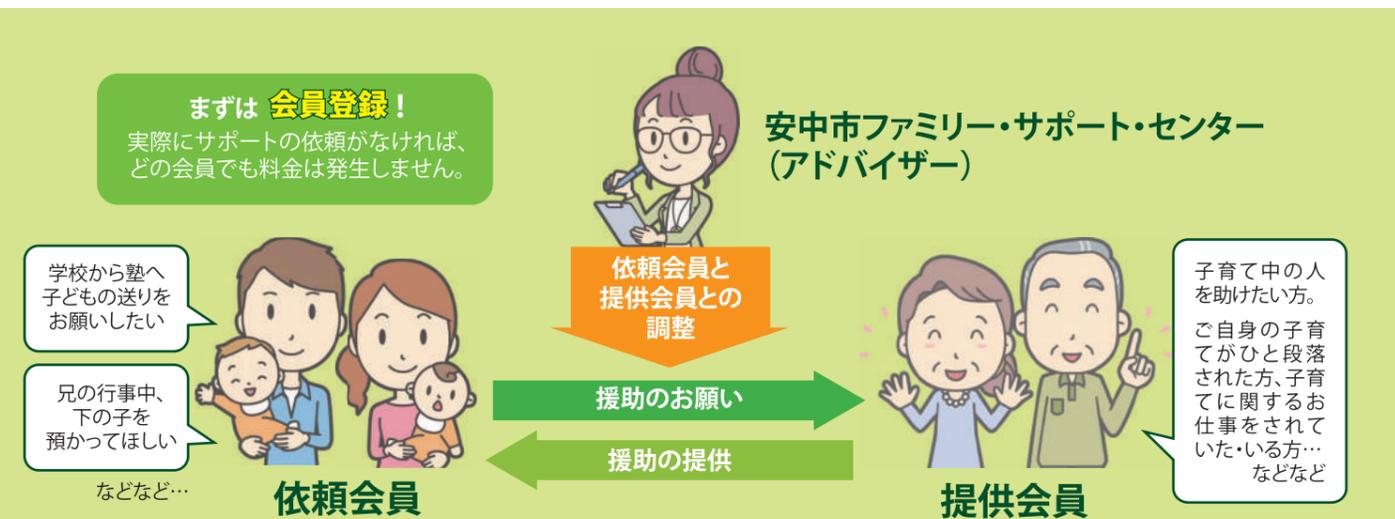
● 管理部門

デザイン部門	ひだまりマルシェに関するチラシやパンフレット等の作成をはじめ、他団体から依頼されたデザイン作成の助力を行う部門。
インターネット通販部門	ひだまりマルシェで扱う商品やサービスをインターネットを通じて提供する部門。

ファミリー・サポート・センター事業

安中市委託事業

2014年度より、群馬県補助事業「あんなか・ミニ・ファミリー・サポート・センター」として事業を開始した『ファミリー・サポート・センター事業』は、2017年度より安中市の委託事業となり、「安中市ファミリー・サポート・センター」となりました。



※会員の種類は依頼会員と提供会員のほかに、両方の会員の要素を持った「どっちも会員」があります。
※職業としてのベビーシッター等とは異なり、地域の住民どうしの支えあいのシステムが「ファミリー・サポート」であり、「相互援助活動」と言われるゆえんです。

【利用基準料金】	7時～18時59分	時間外
平日	700円	800円
土日祝日 年末年始	800円	900円

(子ども1人1時間あたり。1時間経過後は30分毎に半額ずつ加算。)

提供会員が送迎サポート・預かりサポートで自家用車を利用した場合のガソリン代

運転時間30分ごとに150円

※依頼対象の子どもが乗っていない、提供会員がお迎え場所等に向かう時間も加算対象となります。

今年度は昨年度末より新型コロナウイルス感染症の影響が大きくありました。緊急事態宣言が4月に発せられ、休校や習い事等の休業措置が行われたこともあり、5月のサポート件数は0件となりました。安中市ファミリー・サポート・センターでは休校期間中の臨時利用などはありませんでした。会員の皆さまには感染症対策にもご配慮いただき、コロナ禍の中でも大きな問題が起ることもなく事業を進めることができます。

安中市ファミリー・サポート・センター会員数 (単位:人)

	依頼会員	提供会員	どっちも会員
2014	19	26	17
2015	33	55	25
2016	46	79	32
2017	63	108	35
2018	76	117	37
2019	69	111	36
2020	59	104	30



◆主な主催企画

『子育てサポーター養成講座』

安中地域の子育てを地域人材でサポートする力をはぐくむ講座として、2017年度より毎年開催しています。基本的には安中市ファミリー・サポート・センター提供会員に向けた講座ですが、広く一般参加者も募集することで、新たな人材開拓の場としても位置付けています。感染症対策も考慮し、皆さまのご理解とご協力のもと開催することができました。



また、今回初めてオンライン会議ソフトを利用したりリモートでの講座を行いました(写真右上)。講師の先生のご協力もあり、今回は大きな問題なく行うことができましたが、よりお互いが行きやすく改善できる点は多くあるように思いました。



参加者からの声 (抜粋)

「先生達に基礎知識を聞いて本を読むより頭の中に入りました。」
「安全と安心の確保についての項目が子どもの見守りや子どもへの働きかけを考える上でとても参考になりました。」
「子供の医療の事が見直して良かったし、今流行のコロナの事が聞けて良かった。」
「何か私でもできることがあるのか探してみたいです。」

2020年度 講師一覧 (敬称略)

黒岩勢津子(おもちゃコンサルタント)／関義武(保野公園プレイパーク代表)／佐藤美和子(安中市立松井田小学校栄養教諭)／勝見朱子(保育士)／廣田幸子(群馬パース大学看護学科准教授)／鬼形節子(おにかた医院院長)／安中市子ども課／岸織江(保育アドバイザー)／安中市ファミリー・サポート・センター

◆新型コロナウイルス (COVID-19) 感染防止対策



新型コロナウイルス感染症の流行に関し、安中市ファミリー・サポート・センターでは以下の感染予防対策を行い、会員にも呼びかけています。会員には以下の対応・提供を行っております。

- ① 会員にサポートを受けるお子さんやご家族に体調不良の方がいる場合、サポートを中止するよう伝達。
- ② 各自にマスク着用、手洗い、手指消毒などの対策を行うよう依頼。
- ③ 継続でサポートを受けている提供会員等に向け、除菌グッズ(ウェットシート、ハンドソープ、マスク等)の提供。

子育てサポーター養成講座では、感染予防策として事前健康調査票の提出、マスク着用、手指消毒をお願いし、換気等にも気を配りました。



子育てサポートあんなか

『子育てサポートあんなか』とは

子育てサポーターさんのその後の活躍の場として、子育てサポートあんなかを設立しました。

『ホームスタートあんなか』とは

ホームスタート 3つの理念

- 『子どもの最善の利益』
- 『子育て家庭の孤立防止』
- 『保護者のエンパワメント』

ホームスタートは、未就学のお子さんのいらっしゃるご家庭に、週に1回2時間程度定期的に訪問し、傾聴と協働を実践する、イギリス発祥のボランティア活動です。

私たちは、2020年度、特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパンのプレスキームとして登録し、ホームスタートあんなかの立ち上げ準備を行いました。

◇ホームビジター養成講座

ホームビジターとは、ホームスタートで子育て家庭を実際にご訪問いただくボランティアさんの総称です。



管理部門

◆ネット通販部門

これまで店頭でしかご購入いただけなかった物品販売商品を、インターネットにてご覧になったり、ご購入いただけるよう準備を進めています。まずはひだまりマルシェのオリジナルコーヒーや、ひだまりマルシェ会員の作家さん商品(布小物・アクセサリなど)を予定しております。

またご購入いただいた金額の一部は、ひだまりマルシェの事業を通して『社会課題を解決するための活動(子育て世代へのサポート・市民活動支援サポート・健康や生活に関する相談の窓口など)の資金』となります。準備が整い次第ご案内いたしますのでぜひ一度ご覧になってください。



研修会事業

令和2年度 群馬県地域子育て支援拠点事業所職員等研修(中堅職員向け)



2020年12月3日(木)Gメッセ群馬にて開催しました。

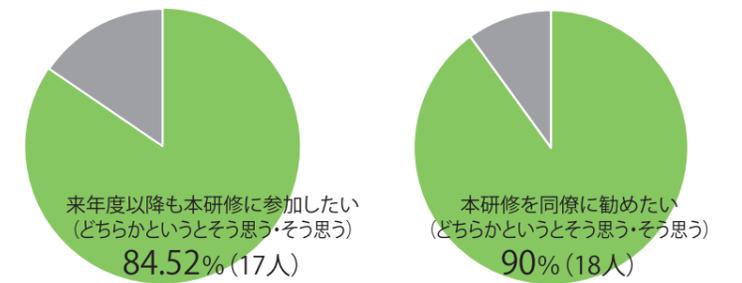
実施当該研修事業では、地域子育て支援拠点の利用者である子育て家庭の中でも、特にグレーゾーンに位置する家庭に対する予防的支援という視点で研修プログラムを作成しました。

グレーゾーン家庭へのアプローチは、それらの課程がイエローゾーン、レッドゾーンへ移行することへの予防につながるという考えのもと、具体的には地域子育て支援拠点における必須事業のひとつである相談・援助をより効果的かつ円滑に行うに当たり必要とされる前提知識や、対人援助に関する技術等を有する人材を養成することを目的とした研修プログラムとしました。



◇参加者アンケート

受講後の調査では、参加者の84.52%(17人)が来年度以降も本研修に参加したい(どちらかというと思う・そう思う)と回答し、また、参加者の90%(18人)が本研修を同僚に勧めたい(どちらかというと思う・そう思う)と回答しました。



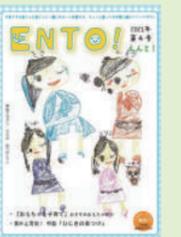
◆デザイン部門

■デザイン受注

他団体や個人の方等からのチラシやパンフレット、冊子などのデザイン受注を開始しました。チラシからパンフレット、冊子、ポスター等、今までに法人で作成し、様々な方から学ばせていただいた技術を生かしたいと進めております。2020年度の受注実績はポストカード作成1件、パンフレット作成2件の、合計3件となっております。

■子育てフリーペーパー「ENTO!」

「ENTO!(えんと!)」は第4号より子育て事業・デザイン部門として独立しました。第4号は、群馬県共同募金会の助成を受け、発行しています。これからも、ほんの少だけクッとしていただいて、ほんのり心が軽くなったような気がする、そんな子育てに関するフリーペーパーを目指していきます。



■法人内のチラシ・お知らせの作成

Annakaひだまりマルシェ内のチラシ・お知らせ・パンフレットのデザイン作成、印刷発注やデータ作成を日々行っています。「対象はどんな方なのか」「どのようにしたら見やすいか」という基礎的なことをはじめ、色合いや文字のサイズ・書体などをチョイスするデザイン力を培う機会としても多くを学ぶ機会となっております。

コミュニティ事業

◆カフェ部門

ひだまりカフェは、“食べる”を通して“つながり”をつくるコミュニティカフェです。

■コロナ禍の中、ひだまりカフェのあり方

新型コロナウイルスの飛沫感染防止の観点から、マスクの着用や会食の禁止等、制限が多く、カフェ部門の活動は狭く厳しい年となりました。イベント等のお弁当販売や出店も全くありませんでした。そんな制限が多い中でも『ひだまりマルシェのカフェだからできること』を考え、工夫を重ね活動しました。

■ひだまりマルシェのカフェだからできること

2020年3月からの全国一斉休校及び休園は、その前よりも子育て中の家庭に心身ともに大きな負担を増加させました。当法人では、休校・休園措置に関するアンケートを実施し、その回答を踏まえ、新たな支援活動を始めました。



↑エコバッグのプレゼントも企画し、好評でした。

大変だったこととして1番多かった『食事の準備』に焦点を当て、群馬県の子育て支援となっている『ぐーちよきパスポート加盟店』となり、ぐーちよきカード提示で安価にお弁当を販売する取組をスタートしました。さらにこの活動を以前より行っている群馬県共同募金会の『募金百貨店プロジェクト』とも連動させ、お弁当の売上げの一部を『子ども食堂関連の寄付』に繋げました。

ぐーちよき弁当の販売を通して、子育て家庭の支援をすると共に、弁当購入者へ子どもの貧困や格差問題を伝える機会とし、多くの方が社会問題に目を向けるきっかけ作りの場となりました。



◆市民活動支援

Annakaひだまりマルシェでは、市民活動をされる方・団体を支援しています。「シェアカフェ」では、市民団体が活動するためのスペースとして、Annakaひだまりマルシェのカフェスペースを貸出しをしています。

以前は昼食の提供を含めたイベントなども承っておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止を鑑み、お弁当を持ち帰る方法に変更したり、開催人数の制限や予約制の導入、開催時間の短縮等、工夫を重ねて『今できること』を考え支援活動しました。手指消毒やマスク着用・ソーシャルディスタンス・換気の徹底に配慮するなど、ご利用いただく皆さまにもご協力頂きながらの活動となりました。

また、Annakaひだまりマルシェを運営する上で培ったこれまでの様々な知識により、他団体のご相談に対応できるようになり、その機会も度々ありました。さらには、チラシ・パンフレットのデザイン作成を承る機会もあり、様々な角度から他団体を応援することにつながり、他団体の活動を後押しすることで、当法人の活動目的のひとつでもある『地域の皆さまと一緒に社会活動を考える』きっかけ作りの拡大にもつながったと考えております。

◆委託販売（物販）・オリジナルドリップコーヒー

新型コロナウイルス感染症の中でマスク不足が大きな社会問題となりました。その影響から、通年販売している手作り布マスクへの反応が大きくありました。さらには手作り布マスクケースやエコバッグなどの需要も増加し、マスク不足の中大変困っている方が安心して購入される場面が数多く見られました。

また、2020年度よりAnnakaひだまりマルシェオリジナルブレンドのドリップコーヒーパックの販売を開始しました。このドリップコーヒーは、ひだまりカフェで提供しているオリジナルブレンドコーヒーをご自宅等でも気軽に味わっていただく目的だけでなく、将来的に寄付付き商品の形を目指し、調整を進めています。

※寄付付き商品…対象商品の価格の一部が寄付となっている商品。寄付先は検討中です。



休校・休園措置に関するアンケート



- ◆アンケート実施形態：Google フォームでの実施
- ◆アンケート実施期間：2020年5月26日から6月14日まで
- ◆アンケート周知方法：チラシ配布及びFacebook、HP、店頭での周知
- ◆回答人数：22人

このアンケートは、新型コロナウイルス（COVID19）の感染拡大によって急遽始まった休校・休園措置を、子どもをもつご家庭の方々がどのように受け止めたのか、ということについて何うことを第一の目的として実施致しました。

告知方法に偏りがあったことや、インターネット上でのアンケート実施となったため、その環境にない方へのご協力を促せなかったことなど反省点はありますが、再度同じ状況になった時、私たちに何ができるのか、ということについて考えるきっかけにしていきたいと思っております。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。



Q 休校・休園措置で「大変だった」と感じていること

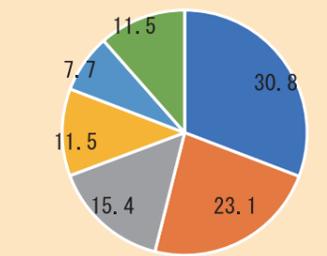
- A 第1位 『食事の準備』
第2位 『学校からの課題など、家庭での教育の負担や学習面への不安』『自由に外出できないことのストレス』

Q 子どもたちがいちばん時間を割いていたことは何ですか

- A 『You Tube等のインターネット』30.8%／『屋内遊び』23.1%／『ゲーム』15.4%
『外遊び』11.5%／『学校からの課題や予習』7.7%／『その他（読書・テレビ・学童）』11.5%

Q 再び休校・休園となった場合、どのような対応や措置を期待しますか？

- A 第1位 『お弁当などの食事支援』
第2位 『学校の校庭や教室などの開放』『オンラインでの学習支援』
第3位 『オンラインでの子ども同士のコミュニケーションの場の提供』『経済的支援』



- インターネット
- 外遊び
- 屋内遊び
- 課題・予習
- ゲーム
- その他

3.11事業

パルシステム連合助成事業

■3.11事業について

何らかの判断をしなければならないとき、「そのとき、何が起きたのか」ということについての十分な情報を得た上で、議論を重ねることが重要であると考えています。

私たちは、東日本大震災当時、東京電力福島第一原子力発電所事故(以下3.11)を起因とする初期被爆は正当に評価されておらず、当時何が起きたのか、ということについて、私たちは知り得ない状況にあると考えています。

そこで私たちは、様々な個人や団体のご協力の下、子どもたちにとっての安全側に立ち、「検査して知る」「知って備える」「万が一の被害を最小限にする」ために、小児甲状腺エコー検査を実施しています。

◇甲状腺エコー検査 受検者推移



ひだまりマルシェは私たちをうしろ支えしてくださる
会員の皆さんを募集しています。

ひだまりマルシェは、私たちが後ろ支えしてくださる皆さんを募集しています。
みなさんと一緒に、私たちのまちを、私たちの手で、今よりも暮らしやすい場所にしていきたいと思っています。

◆振込口座

郵便振替 00120-8-601377
特定非営利活動法人Annakaひだまりマルシェ

【他銀行よりお振込みの場合】

ゆうちょ銀行
店番号: 019 預金項目: 当座
店名: 〇一九 口座番号: 0601377
特定非営利活動法人Annakaひだまりマルシェ
※他銀行よりお振込み頂く場合、お手数ですが
氏名・ご住所をお知らせ下さい。

◆会員の種類

- 賛助会員(個人) : 年間 一口3,000円
- 賛助会員(団体・法人) : 年間 一口5,000円
- サポーター会員(個人) : 年間 一口1,000円

電話: 027-384-3131 FAX: 027-384-3130
メール: annaka-hidamari@kem.biglobe.ne.jp
(水曜除く平日9時~17時/土曜9時~15時)



ひだまりスタッフ 座右の銘



2021年4月16日 Annakaひだまりマルシェにて

